

## 目次

1. 子宮頸がん 進行 シスプラチン・放射線併用療法（753015） .....	2
2. 子宮頸がん 進行 TP療法（753023） .....	3

初版 2020年12月04日

第2版 2021年3月25日

作成 羽生総合病院 外来化学療法センター/薬剤科

1. 子宮頸がん 進行 シスプラチン・放射線併用療法 (753015)

薬品名	略語	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
シスプラチン	CDDP	40mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	60分	Day1,8,15,22,29,36	遮光して投与
放射線治療		1.8-2.0Gy			計 50-50.4Gy	

■ 1コース期間：42日間、総コース数：1コース

・ 適応：進行子宮頸がん (Stage I b-IVa)

■ 参考文献：N Engl J Med 340(15):1144-53(1999).

■ 催吐リスク：高

■ 発熱性好中球減少リスク：低

■ 血管への影響：CDDP：炎症性抗がん剤

■ 主な有害事象

・ CDDP：悪心、嘔吐、食欲不振、倦怠感、腎機能障害、骨髄抑制、聴力障害、末梢神経障害、電解質異常 (特に低 Mg 血症が特徴的)

■ 減量基準

	CDDP
1段階減量	30mg/m <sup>2</sup>
2段階減量	投与中止

■ 腎機能によるシスプラチンの減量基準

Ccr 45-60mL/min	75%に減量
Ccr 30-45mL/min	50%に減量
Ccr <30mL/min	中止

2. 子宮頸がん 進行 TP療法 (753023)

薬品名	略語	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日	備考
シスプラチン	CDDP	50mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	60分	Day2	遮光して投与
パクリタキセル [D法]	PTX	135mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	24時間	Day1	フィルター投与

■ 1コース期間：21日毎、総コース数：6コース

- ・ 適応：進行 (StageIVb)、再発子宮頸がん
- ・ パクリタキセル：D法では12時間毎の2回に分けて調製及び投与すること。

■ 参考文献：J Clin Oncol 22(15):3113-19(2004).

催吐リスク：高

■ 発熱性好中球減少リスク：中

■ 血管への影響：CDDP：炎症性抗がん剤、PTX：起壊死性抗がん剤

■ 主な有害事象

- ・ CDDP：悪心、嘔吐、食欲不振、倦怠感、腎機能障害、骨髄抑制、聴力障害、末梢神経障害、電解質異常 (特に低Mg血症が特徴的)
- ・ PTX：骨髄抑制、末梢神経障害、関節痛、筋肉痛、悪心、嘔吐、脱毛、皮疹、爪の変化、アナフィラキシー、間質性肺炎

■ 減量基準

	CDDP	PTX
1段階減量	37.5mg/m <sup>2</sup>	110mg/m <sup>2</sup>
2段階減量	25mg/m <sup>2</sup>	90mg/m <sup>2</sup>

■ 腎機能によるシスプラチンの減量基準

Ccr 45-60mL/min	75%に減量
Ccr 30-45mL/min	50%に減量
Ccr <30mL/min	中止